

裂テ自ラ仁出ヅ然レドモ氣味却テ惡シ願ハ用ル時ニ臨テ碎キ用レバ其功力尤モ速ナリ

〔倭名類聚抄十七〕桃脂。神仙服餌方云桃脂一名桃膠和名毛々乃夜選

〔箋注倭名類聚抄九〕果蔬具神仙服餌方無傳本本草和名桃核條云桃膠一名桃脂出神仙服餌方此

所引即是

〔和漢三才圖會八十六〕桃音陶

桃肉辛酸甘熱微毒多食令人膨脹及生癰癤有損無益服白朮蒼朮人忌食之

桃仁苦甘平味厚沈而陰陰中之陽手足厥陰血分藥也其功有四治熱入血室也一泄腹中滯血也二

除皮膚血熱燥痒也三行皮膚凝聚之血也四故通月水通潤大便消心下堅硬香附子爲之使

〔倭訓栞前編三十三〕も、略○中近世種類多し○中さねはなれを解核といへり毛桃漢名同じ萬

葉集にも見ゆにがも、ともいふ緋桃も漢名なり冬桃あり花は單へ也博玄が冬桃賦あり酉陽

雜俎に西王母桃と名く我方にて西王母と呼ものは壽星桃也一花兩實の者をめをとも、とい

ふ群芳譜に鴛鴦桃といへり紅白相交るを源平桃といふ旗の色によれり群芳譜に日月桃とい

ふ、えだり桃あり八重一重あり藻鹽艸に夏桃あり一歲桃あり實を殖て尙年に花咲り西王母に

似たりは、き桃と稱するは地膚のごとし菊咲と稱するは花菊のごとし

〔地錦抄三〕桃のるひ木春中

西王母も、いろ八重大りん木一尺ほどになれば花さく事おびたし花は一所に二ツづ、

なる物なり花落ルまで葉出ずして落花後葉出六七月時分葉のさきに又花さく事あり

一歲桃うさぎ桃花形せいわうば似てたねを植て其年の實生に花咲ゆへ一才も、といふとぞ

あめんだう葉ほそく長くやなぎのごとく今は中絶してなし

帚桃 春末花白とも、いろさきわけにてなかほごにりん八重なり木立本よりほそく多ク出

桃種類